

# 力を合わせて頑張ります！

小規模作業所「つどいの家」が法人化



つどいの家のメンバー

浜田にある知的障害者が働く小規模作業所「つどいの家」が、9月21日、社会福祉法人としての認可を受けました。小規模作業所が法人として認められたのは市内で初めて。おめでとうございます。

「みんなで運営している  
共同作業所」です

つどいの家は民間小規模作業所として平成三年に開所されました。折しも今年は設立十周年。社会福祉法人となったことは、施設のみなさんや家族にとって、うれしいニュースとなりました。

現在のメンバーは、十八歳から三十歳までの十三人。それに、職員やボランティアが加わり、ポストカードや葉書、石ころりん磁石などの製作をしています。

仕事は、牛乳パックをちぎってカードの材料をつくる担当、紙すきをする担当、石に絵柄を描く担当などに分担されています。カードは一日約四十枚、一枚一枚手づくりで心のこもったカードに仕上がります。製品は県庁地下の売店などで販売され、収益はメンバーのお給料として還元されます。



紙すき道具も本格的です

社会福祉法人化は  
次へのステップ

つどいの家のように小規模作業所が法人として認可されると、今まで市からの単独補助だった運営費が国からも補助されるようになり、およそ二倍に増額されます。それによって、より多くの通所者を受け入れることができるようになり、スタッフも増員し、施設の充実がはかられます。

また、社会福祉法人となることにより、

各種相談支援事業、ホームヘルプサービス事業など、障害者のための総合的な支援も可能となります。



法人設立認可証の交付式で



牛乳パックを細かくちぎる作業中